

# 市民と野党の統一候補だった議員が「憲法改悪許さない」などと挨拶 日本共産党の第75回新潟県党会議に野党総結集、参院選でも共闘めざす

2月25日、日本共産党の第75回新潟県党会議が燕市において開かれました。県党会議というのは、新潟県の日本共産党組織の最高決議機関です。私も上越地区選出の代議員の一人として参加してきました。

会議が始まる5分前に初めて知ったのですが、この日の会議には来賓が来られ、挨拶するということでした。誰が来られるのかと

思ったら、昨年の総選挙で野党統一候補としてたつたかった県内の野党国会議員（候補）6人、民主党、自由党、緑の党など他党の代表、市民連合@新潟の共同代表で、県党会議に他党議員（候補）が参加したのは新潟県の上では初めてです。米山知事、鷲尾衆院議員からはメッセージが寄せられました。マスコミも初めて入りました。



初めて、西村智奈美議員、黒岩宇洋議員、菊田真紀子議員などの挨拶を聞きましたが、共通して野党共闘の重要性について触れ、安倍政権下での憲法9条改悪、柏崎刈羽原発の原発再稼働に反対するとのべました。

社民党県連代表は「共産党の共闘方針はにわか仕立てではない。30年以上も前から提起している」、新社会党は「共闘をさらに進化させるにはギブ&テイクが必要だ」、緑の党は「総選挙を通じて国会議員のみな

さんがたくましくなつた」とのべました。市民と野党の共闘が一段と進化していることを示す感動的な挨拶でした。

この会議では、日本共産党の上さとし参院議員もかけつけ、「来年の参院選に向け、共同を再構築し、勝利に結びつけ、日本共産党の躍進を勝ちとるために全力を尽くす」と決意表明しました。

## 消防組合新年度一般会計 予算は42億9421万

上越地域消防事務組合議会（妙高市、上越市が所管地域）は2月19日に定例会を開催し、2017年度一般会計補正予算、2018年度一般会計予算などを審議しました。

管理者の提案理由を聞いていて、「えっ」と思ったのは消防行政の分野まで「将来に向けた価値ある投資」「真に必要な事業」という文言が出ていたことです。これは上越市が行革などで使ってきた文言です。消防、救急、救助の分野にまで使われることに違和感を覚えました。

新年度一般会計予算は新庁舎建設などがあることから前年度に比して49.9%増の42億9421万円になりました。消防本部・上越北



【マンサク】今年もマンサクの花の季節がやってきました。2月28日、私の事務所近くで開花しているのを確認しました。開花の時期は例年とほぼ同じようです。この黄色の花を見ると、やはりうれしくなります。

## 庁舎再編で所管事務調査

総務常任委員会の所管事務調査が2月19日に行われました。ここでは、市当局から庁舎再編（配置の適正化）の基本方針案についてのパブリックコメントの結果報告とそれをうけて一部手直した最終基本方針の説明があり、質疑が行われました。

パブリックコメントに応じたのは2人の市民と1つの団体と少なかったのですが、行政の効率化ばかりでなく、既存建物を活用した分散配置を求める意見や今回の方針を決めるにあたってアンケートや説明会開催などを求める声が出ていたのは当然だと思いました。

私は、この問題を行政主導で進めてきたことを批判するとともに、今後、約40年間にわたる庁舎配置の基本を定めるものとなるのでじっくり決めてほしいと訴えました。

# はしづめ法一の 活動レポート

**No.1847 2018.3.4**  
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ  
 「ホーセの見たある記」は  
 ← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い 第四九五回 数字がいっぱい

柏崎の母にとつて介護老人保健施設での暮らしは初めてです。入所して二週間ほど経ってから、「どうしているかな」と思っている、妻とともに出かけました。

施設の部屋に入ってベッドのところまで行くと、義母は小さな声で「おおっ」と言っていました。連絡なしで訪問したので、少しは驚いたのかも知れませんが、私には、訪問を予想していたようにもみえました。

義母は私たちの顔を見るなり、「だんだんぼけてきた」と言いました。少し間をおいて「苗字が覚えられないんだよ。顔は覚えられるでも」と言いました。私たちは義母の着ている服のことなどを話をしたのですが、「だんだん……」は自分の言いたいこととして事前に決めていたのかも知れません。

住み慣れた自分の家を離れ、こうした施設で暮らすというのは、当事者本人にとつては初めてのことが多く、緊張することが多いのではないかと勝手に想像してしまっていました。でも、義母は自分のペースを守りながら、慣れようとしているようです。

義母は、面白いことをいくつも話してくれました。

例えば、爪切り。義母の爪切りは施設の介護士さんがしてくれるとのことですが、義母はその様子を当初、びくびくしながら見ていたようです。そうしたなか、「そこは肉だつて」と言っていて職員さんと笑い合っていたこともあるのか。けっこう細かいことまで覚えていたんだ、と私は思いました。

入浴時のことで、こんなことも話してくれました。体を洗ってもらうときに目をつむっていたのでしようか、ふと介護士さんの足を見たら、毛むくじやら。男性だったというのです。その男性は「半ズボン(?)」をはいて仕事をしていたと、義母

はうれしそうに語ってくれました。

こういつた話を笑いながらしてくれたことから推察すると、義母は介護スタッフの人たちと良い感じで付き合っているようです。

三〇分ほど経ってからでしようか。ベッドの隅に置いてあったティッシュの箱を見て、びっくりしました。箱のあらゆる面にボールペンで数字がびっしり書かれていたのです。

よく見ると、数字は右の方から左の方へと順番に並んでいて、0から100まで書かれています。100に到達すると、再び0から書き始める、それが繰り返されていきました。数字はきれいに書かれていて、箱に描かれたデザインと見間違える人もいそうなくらいです。それほど上手に書かれていました。

入所するときの聞き取りの際、「(義母は)計算問題が好きで、九九が得意だ」という言葉を耳にしていました。そのときは笑っていたのですが、ベッドの上で、それもティッシュの入った箱にまで数字を書き込む人だとは思ってもみませんでした。

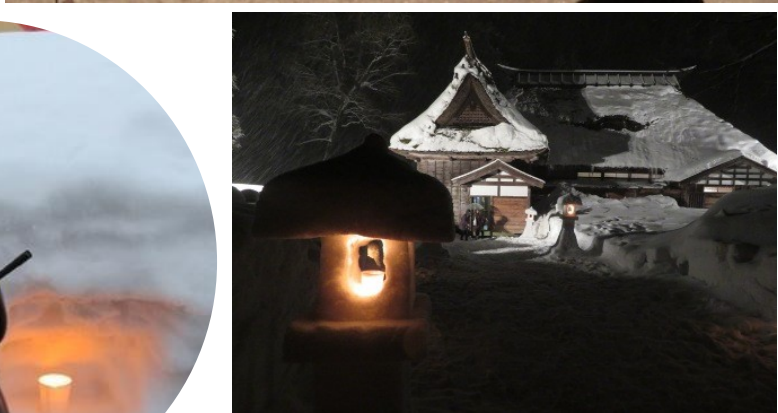
私は、義母が数字の書き込みを一時間や二時間でさっさと終わらせたとは思えませんでした。一つひとつの数字を書くたびに家族や親せきの人たち、仲の良い友達のことなどを思い出している、ひよつとしたら、数日かけて書いたのではないか。そんな気がしてきました。

今冬は大雪です。義母が入所してからもドンと降った日がありました。施設では、ろくに外も見えないで暮らしているのかと思ったり違いました。義母は部屋の外にある杉や雑木などがまるで白い花を咲かせているようだったと言ったのです。やはり、まだ淋しいと思う日もあるのでしょうか。

## ニュースフラッシュ



巨大かまくら(大島区仁上)



飯田邸は今年も美しかったです(菅蒲)

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月21日(水)	2月28日(水)
上越南消防署	0.030	0.040
上越北消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.050	0.040
頸北消防署	0.057	0.047
頸南消防署	0.057	0.070
東頸消防署	0.040	0.043
高士分遣所	0.047	0.047
名立分遣所	0.053	0.053

顔がよく見えなくても体つきで誰だかわかる?(大島区田表)



ロウソクに火がついてほっとする女性(牧区東松ノ木)

今年の「灯の回廊」はところにより雨やみぞれとなり、あいにくの天候でした。それでも、ロウソクと白い雪で美しい風景をつくりだそうとした人たちの努力が実って、上越市ならではの素晴らしい景色が出現しました。私は高士、牧、浦川原、安塚、大島とまわりました。

# 春よ来い 第四九五回 数字がいっぱい

柏崎の母にとつて介護老人保健施設での暮らしは初めてです。入所して二週間ほど経ってから、「どうしているかな」と思いい、妻とともに出かけました。

施設の部屋に入ってベッドのところまで行くと、義母は小さな声で「おおっ」と言いました。連絡なしで訪問したので、少しは驚いたのかも知れませんが、私には、訪問を予想していたようにもみえました。

義母は私たちの顔を見るなり、「だんだんぼけてきた」と言いました。少し間をおいて「苗字が覚えられないんだよ。顔は覚えられるでも」と言いました。私たちは義母の着ている服のことなどを話をしたのですが、「だんだん……」は自分の言いたいこととして事前に決めていたのかも知れません。

住み慣れた自分の家を離れ、こうした施設で暮らすというのは、当事者本人にとつては初めてのことが多く、緊張することが多いのではないかと勝手に想像してました。でも、義母は自分のペースを守りながら、慣れようとしているようです。

義母は、面白いことをいくつも話してくれました。

例えば、爪切り。義母の爪切りは施設の介護士さんがしてくれるとのことですが、義母はその様子を当初、びくびくしながら見ていたようです。そうしたなか、「そこは肉だつて」と言つて職員さんと笑い合つたこともあるとか。けっこう細かいことまで覚えていたもんだ、と私は思いました。

入浴時のことで、こんなことも話してくれました。体を洗ってもらうときに目をつむっていたのでしようか、ふと介護士さんの足を見たら、毛むくじやら。男性だったというのです。その男性は「半ズボン(?)」をはいて仕事をしていたと、義母

はうれしそうに語ってくれました。

こういつた話を笑いながらしてくれたことから推察すると、義母は介護スタッフの人たちといい感じで付き合っているようです。

三〇分ほど経つてからでしようか。ベッドの隅に置いてあったティッシュの箱を見て、びっくりしました。箱のあらゆる面にボールペンで数字がびっしり書かれていたのです。

よく見ると、数字は右の方から左の方へと順番に並んでいて、0から100まで書かれています。100に到達すると、再び0から書き始める、それが繰り返されていきました。数字はきれいに書かれていて、箱に描かれたデザインと見間違える人もいそうなくらいです。それほど上手に書かれていました。

入所するときの聞き取りの際、「(義母は)計算問題が好きで、九九が得意だ」という言葉を耳にしていました。そのときは笑っていたのですが、ベッドの上で、それもティッシュの入った箱にまで数字を書き込む人だとは思つてもみませんでした。

私は、義母が数字の書き込みを一時間や二時間でさっさと終わらせたとは思えませんでした。一つひとつの数字を書くたびに家族や親せきの人たち、仲の良い友達のことなどを思い出している、ひよつとしたら、数日かけて書いたのではないか。そんな気がしてきましたのです。

今冬は大雪です。義母が入所してからもドンと降つた日がありました。施設では、ろくに外も見えないで暮らしているのかと思つたら違いました。義母は部屋の外にある杉や雑木などがまるで白い花を咲かせているようだったと言つたのです。やはり、まだ淋しいと思う日もあるのでしょうか。

## ニュースフラッシュ

巨大かまくら(大島区仁上)



旧月影小グランドは一面ろうそくの明かり(浦川原区横住)

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月21日(水)	2月28日(水)
上越南消防署	0.030	0.040
上越北消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.050	0.040
頸北消防署	0.057	0.047
頸南消防署	0.057	0.070
東頸消防署	0.040	0.043
高士分遣所	0.047	0.047
名立分遣所	0.053	0.053

ロウソクに火がついてほつとする女性(牧区東松ノ木)



雨が降っても大賑わい(安塚区坊金)

今年の「灯の回廊」はところにより雨やみぞれとなり、あいにくの天候でした。それでも、ロウソクと白い雪で美しい風景をつくりだそうとした人たちの努力が実って、上越市ならではのすばらしい景色が出現しました。私は高士、牧、浦川原、安塚、大島とまわりました。